

財政状況

平成14年度決算報告

一般会計・特別会計

平成十四年度一般会計の決算額は、歳入が六百三十三億四千九百十二万円（前年度比〇・二％の減）、歳出は六百二十八億千二百二十万円（同〇・一％の増）となりました。

また、十三の特別会計の決算総額は、歳入が四百十二億七千七百三十八万円（同二・六％の減）、歳出は四百三億二千三百三十八万円（同二・〇％の減）でした。墓苑事業費の減少が著しいのは、第二いなば墓苑の用地取得が減ったことによるものです。

一般会計の歳出は、高齢者福祉や児童福祉などにかかわる民生費の割合が全体の二一・五％と最も高くなっています。続いて道路や公園、住宅整備などにかかわる土木費が十七・二％と続いています。また、市債など借入金の

平成十四年度は、「市民の立場に立つ、市民生活を大切に、まちに活力と魅力を」の理念のもと、二十一世紀の新しい時代にふさわしい活力と魅力のある市民生活と地域社会の実現に向けて各種の施策を展開しました。

今回は、平成十四年度決算額を中心とした鳥取市の財政状況を紹介します。また、平成十四年度「バランスシート」と「行政コスト計算書」を作成しましたので合わせてお知らせします。

返済に使っている公債費は十二・三％となっています。

なお、それぞれの会計の決算額は表1、また一般会計について、歳入の内訳は表2、歳出の内訳は表3のとおりです。

市債（借入金）残高

一般会計と特別会計の市債残高は、千三百七十七億五千四百七十七万円です。（表4）
これは、平成十四年度市税収入の約六・七倍になります。

一般会計歳出（表3）

議会費・災害復旧費
4億2,297万円
0.7%

防費
641万円
0.1%

民生費
134億9,425万円
21.5%

土木費
108億1,864万円
17.2%

総務費
32億1,158万円
5.0%

（主な事業）
広報活動費 1億 681万円
地方バス路線維持対策費 9,265万円
J R山陰本線・因美線等高速化整備費 8,511万円
I T推進関係費 3,504万円
100円循環バス実験運行費 3,324万円



移転改築された松保保育所

保育事業費	34億2,393万円
生活保護費	18億7,764万円
重度心身障害者医療助成費	5億2,165万円
児童手当給付費	4億9,988万円
保育所増改築事業費	4億5,484万円



整備が進んでいる鳥取港西浜地区

（主な事業）	
道路整備費	19億5,289万円
街路整備費	11億4,440万円
市営住宅建設・建替事業費	7億8,831万円
鳥取港西浜地区振興事業費	3億6,774万円
白兔海岸周辺整備費	2億8,613万円



平成14年度一般会計歳入（表2）

